



ニュースレター あすか

2008

9月号

通算 186号

2008年9月1日

あすか療養センターオープンハウス

緑井の岩谷に完成した「あすか療養センター」の見学会が7月18日、19日に行われました。市内を一望できる高台に位置し、山々の緑に囲まれ、さわやかな風が吹く中で約150名の皆様をお迎えしました。

「ショートステイいわや」の和風と洋風の4ユニットの広い共同生活室、各居室の見学、座位が安定する椅子や、1辺が一人ひとりの占有スペースとなることで隣を気にせずに落ち着いて食事やお茶を楽しむことの出来る六角テーブルに実際に座って頂いたりと多くを体験して頂く事も出来ました。利用者の皆様のご希望を、お聞きしながらお一人お一人の築いてこられたなじみの暮らしを継続し、その方らしく暮らして頂けるよう、スタッフ一同努力して参ります。

ショートステイいわや 沖田 真弓



▲ 4階の畳スペース

▼ 5階のゆったりと落ち着ける足湯場



“ニュースレターあすか”は当法人のホームページ上でも
見ることができます

<http://www.asuka-net.or.jp>

発行元：医療法人あすか

(編集：浜本 正美)

住所：〒731-0103

広島市安佐南区緑井2丁目12-25

TEL:082-879-3143

FAX:082-879-3190

【目次】

【ページ】

1. あすか交流会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
2. ホームページが新しくなりました
3. おもしろきかな我が人生
～石原 守恒さん～・・・・・・・・・・・・・・・・・3
4. あすか事業所だより・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
5. アートの世界・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
6. ショートステイみどりいでユニットケア・・・6
7. 安佐南区総合福祉センターオープン
8. あすか9月のロードショー
9. 若竹句会 7月作品抄・・・・・・・・・・・・・・・・・7
10. ホームページの紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・8

第51回 あすか交流会

7月19日(土)午後1時より、あすか療養センターであすか交流会を開催いたしました。総勢80名のご家族様、ご利用者様にお越しいただきまことにありがとうございました。

さて、今回の内容は、「ユニットケアについて」と当法人で実践を始めた「センター方式について」のお話をさせて頂きました。「あすか療養センター見学」ではグループごとに分かれて見学をしていただきました。ご家族の皆様の中からは、ご自分が泊ってみたいとおっしゃる方もいらっしゃいました。姫路市にお住まいの画家、今井恵美子様「野の花美術館」の絵を見入っていらっしゃる方もたくさんいらっしゃいました。見学を終えられた方々から順次、交流の場で話に花が咲きました。次回の交流会も多くの方々に参加いただけるよう、企画させていただきます。

多くの皆様に、あすか療養センターへの道案内が不十分でありましたことを深くお詫び申し上げます。野の花ガーデンや果樹園も完成いたしました。ぜひお立ち寄りください。こころよりお待ちしております。

今中峰三子



▲ 会場(デイサービス「野の花」)



▲ 玄関ロビー ▶



7/1 ホームページが新しくなりました



ニュースレターのバックナンバーも見ることが出来ます!

医療法人あすかの情報をすばやく正確に提供し、すっきりとした見やすいデザインのホームページに仕上がりました。あすかの事業所を目的別に掲載しています。ニュースレターも載っていますので、ホームページに足(手と目?)を運んでみてください。

【変更前】

【リニューアル後】





「沖縄・東京・広島
でたくさんの人と
出会えた事が、私
の財産です」

大正8年12月12日(89歳)

お住まい...安佐南区緑井

宝物...ゴールドの免許証

好きな音楽...クラシック音楽

「沖縄生まれ」

私の里は沖縄県中頭郡北谷(チユタン)村で、家の近くの精糖会社のサイレンが鳴り響く中生まれました。琉球国(今の沖縄)の土族の男性は皆、名前の頭に「守」という字をつけるのが昔からの風習で、私の名前も「守恒」となり、父、二人の兄も「守」が付いています。

思い出すのは母のこと。教師だった母は、本や新聞、紙など大切にしようというも言っていました。子供だった私は、気にもとめず、本を跨いだことがあり母に張り倒された記憶があります。雨で増水した川に、おもしろがって遊びに行つたときは、柱にくくりつけられ、おへそにお灸をすえられました。熱くて痛くて・・・その時の母の鬼のような顔、思えば私の為を思っていてくれた、厳しさ。この年になって会いたくなるのはどうしてだろう。もし、沖縄に帰れるならば願いたい。霊媒師の「ユタ」に頼んで、母の魂に「ごめん」と一言謝りたいと・・・そして、家族5人で暮らした村の風景、懐かしい海の景色、美しい砂浜を見ながら、風に吹かれないと思つたのです。

「東京の出来事」

昭和11年、沖縄を離れ、東京へ行きました。東京の街は華やかでいろんな趣味を楽しみました。

忘れられないあの日・・・5月25日、徴用工として飛行機を作る仕事を終え、中

野のアパートで寝ていたとき、突然空襲警報が鳴り響きました。短波ラジオから「伊豆東北にB29来襲」と放送がされたと同時に焼夷弾が雨のように降ってきました。私は必死に逃げましたが、すでに外は火の海とにかく夢中で走りました。地獄のような光景を潜り抜け、何とか助かりました。防空壕に逃げ込んだ人は蒸し焼きになり、たくさんの方が死にました。あの時の焼夷弾が地上へ落ちる「カラン・カラン」という音が今でも耳に残り、心を揺さぶります。あの戦争を体験した人々は思うことでしょうか。あの苦しみはもう誰も経験してはならないと、命の大切さを伝えなければいけないと・・・

「出会い」

幸せは訪れました。妻に出会ったことです。私の一目惚れでした。結婚できたときはとても嬉しかったです。二人の思い出は大切な宝です。

運輸会社を定年退職した私は、妻といっしょに愛車のカローラで九州一周や関東地方などへ貧乏旅行をしました。車内で寝たり、風が強い日は大きな建物の壁にぴったり車をつけて風よけをしたものです。今は亡き妻。思い出は時に寂しい気持ちにさせます。私が約束を守らなかつた

りすると、仏壇の妻の写真が、苦笑いをしてるようで思わず襟を正す毎日です。

今の楽しみはケアマナさんに紹介されたシヨートステイやしゅりあちよーくで若いみんなのエネルギーをもらうことです。お酒を飲みすぎないこと、体調に気をつけること・・・そして、この楽しみを続けたい。好奇心旺盛で、何でも知りたがり、何でもおもしろがる性格の私・・・これからも、楽しく生きて思い出を増やしたいと願っています。



20代の頃の石原様
とつてもダンディーですね

読書・音楽・映画と趣味の多い石原さん。特にクラシック音楽は自分で指揮が出来るくらい大好きだそうです。色々な事に興味を持ち、人生を前向きに生きていく大切さを学ばせていただきました。

中谷 百合子

しゅりあちよーく

神楽

野ばら

7/26

7月26日(土)に、綾西神楽団にお越し頂き「戻り橋」を披露していただきました。神楽の内容は『茨木童子が都人に化けて夜な夜な羅生門の戻り橋辺りに出没し、都に災いをもたらしていた。そこで、四天王の渡辺綱が源頼光の命令を受け、茨木童子の成敗に向かう』という舞でした。ご利用者様からは「ステージが目の前にあって近くで見れてよかった。迫力があつた」や「昔は神楽をよく見に行っていた。この年になってまた見れるとは思わなかった」などたくさんのお声がありました。演目後、華やかな衣装を着せて頂き、歓声が湧き上がりました。



大迫力

じごいの家

「じごいの家」の菜園収穫

5月中旬からさつまいも、おくら、トマト、なすび、すいかなどの苗を植えていきました。毎朝、水をやり草をとって成長を楽しみにしてきました。今月に入りたくさん野菜を収穫しています。トマトはサラダに、なすびはお味噌汁の具やお漬け物に、すいかは昼食後のフルーツとして手間ひまかけた無農薬の野菜の味は格別です。



おいしそうなおナスびとトマトとなすび

すいかを収穫

シヨート

仮装大会

『暑い夏を笑ってふつとばさう』と思い、「ご利用者様にも普段とは違う衣装を着ていただき、仮装大会を行いました。ご利用者様代表として3人の方に赤いムームやチャイナドレス、ピンクのドレスを身にまとってもらいました。お化粧をするとすっかり変身！仮装したご利用者様を見て、まわりのご利用者様も満面の笑顔。飛び入り参加の看護師が扮する乳牛と並んで記念撮影を行いました。「笑い」がはじけたイベントになりました。

仮装したみんなで記念撮影！



7/15

まやるちよーく

真夏の運動会

走れ・飛べ・笑え
まやるの空の下

赤白対抗玉あてゲーム・綱引き・飴食い競争・応援合戦と盛りだくさんの運動会！「よいスタート」の合図で玉あてゲーム開始！皆さん握りしめた玉を的めがけて一生懸命投げて、「やったー、当たったよ」「残念、当たらんかったよ」等々、泣いたり笑ったりと大盛況でした。飴食い競争では、粉で真っ白になった職員顔をみんで見て大爆笑！暑く・熱く盛り上がった運動会の後はほっと一息、冷たいアイスクリームで乾杯。みんなで食べたアイスクリームは格別でした。



紅組優勝バンザイ



新人職員による応援合戦

7/30

森井 和子様 (67歳) まやるちょーく

「心に残っている昔の懐かしい風景や、紙芝居、花を立体的に創ったりと…次から次へとアイデアが浮かんでくるの！」と笑顔で話される森井さん。たくさんの方に観てもらいたい！と次回作にも意欲的に取り組んでおられます。



河野一枝様 (94歳) しゅりあちょーく

絵画歴は8年で、子どもの頃から好きで成績も良かったよ。色の使い方・作り方が難しいけど、思い描いていた色が出ると嬉しいね。そこが絵画の醍醐味かな(笑)人物画は、「目が命」よ！

「個性的で深く強い世界が広がっています。全体的に描き進められ、色と線の重なりがとても美しいです。」



木村 アヤコ様 (80歳) しゅりあちょーく

二年前に絵画の先生に誘われて始めたけど、今は楽しみの一つになっているよ。いつも、“手本に近づけるように” “もっと上手になりたい” と思っているのよ。これからも楽しみながら頑張るよ！

「色の組み合わせが自然でとてもきれいです。選ばれる題材はいつもユニークで木村様の楽しいお話が聞こえてくる様です。」



ショートステイ
みどりいでの

ユニットケア



ユニットケアの利点を取り入れようと個別の目標に取り組みました。
今回は、その経過報告をします。

ご利用者様のK様は他の方の部屋を行き来され落ち着かずスタッフの声かけにもあまり反応なく歩いておられる毎日でした。

K様の目標は「役割を持ってもらい安心して過ごせるようになること」です。

まず、K様には(食事の準備の前にコップにお茶を入れたり汁物をついで頂く)役割をもってもらうことにしました。初めに説明してスタッフのやり方を見てもらい自分で出来る自信が持てるまで何度も繰り返したところ、それから数日後、ご自分から「私の仕事じゃけーの」と配膳のお手伝いをして下さるようになりました。

初めの頃は1つ1つ説明をしてきましたが、日が経つにつれて説明なくコップにお茶を積極的に入れてくださるようになりました。



それからは食事時間前には、配膳台で待って「お茶を入れようか」とご自分から声をかけて下さるようになりました。そして笑顔も沢山でるようになりました。
フロアのご利用者様と会話を楽しまれたり、落ちつきがみられるようになりました。
個別の関わりにより職員も多くの気づきを学びました。

7/22

安佐南区総合福祉センターが オープンしました。



安佐南区役所から
安佐南区厚生部
(安佐南福祉事務所 / 安佐南保健センター
が移転しました。

安佐南区地域福祉センター

古市児童館

〒731-0194

安佐南区中須1丁目38-13

あすか 9月のロードショー 【和田アキコ物語】

この映画は しゅりあちょーくで9/4(木)・5(金) ショートステイで9/7(日)
まやるちょーくで9/8(月)・9(火) に上映します。

各事業所のシアター開催曜日は下記の通りです。

しゅりあちょーく	まやるちょーく	ショートステイ
毎週月・木・金曜日	毎週月・火・金・土曜日	毎週日曜日

各事業所では上映する映画についてのアンケートを実施中です。
皆様のご希望により新しい映画もどんどん上映していきます。

若竹句会七月作品抄



信廣高陽 選 (平成二十年)

父の日や お酒供へて おがみをり

河野 一枝

〔寸評〕お酒好きだった亡父の面影が偲ばれる一句。お神酒でなく「お酒」としたところに俳諧味を覚えます。

五月雨や 一人静かな 部屋に居て

河野 一枝

〔寸評〕五月雨は陰暦五月頃降る長雨。外出する気にならず、一人静かに物思いに耽ることも又趣のあるというもの。梅雨どきならではの悟りの一句。

晴れた日に どくだみつみて 軒に下げ

常広 信枝

〔寸評〕どくだみは、毒を止める、の意。十葉ともいう。地下茎を延ばして広がる、葉は悪臭があるが、乾したものは消炎・利尿剤などとして用い、葉は腫物に貼付して有効。というので、農家の軒先に吊るし乾されている光景もなつかしいもの。

広き田も 見る見る内に 青田なり

常広 信枝

〔寸評〕機械化が進んで、田植え機の普及もめざましいものがあります。まさに「みるみる内に…」そのとおりです。

田植済み つかれをいやす 温泉地

西 富枝

〔寸評〕田植えを終わって田の神を送る田植仕舞の祝宴を、歳時記では「早苗饗」といいます。近代的な「早苗饗」ですね。

かぼちゃの花 受粉援助で みのり待つ

西 富枝

〔寸評〕人工授粉である。かぼちゃの花が夏の季詞。

好天気 つづくも梅雨は 明けもせじ

大北 政子

〔寸評〕ずい分待たされた梅雨明け宣言でしたね。

さわやかに 目覚めるやうな 樟新樹

大北 政子

〔寸評〕新樹は、初夏のみずみずしい緑の立木をいいます。俳句は原則一句一季語がよいとされています。



町中に 青田残りて 庭風情

中谷 明子

〔寸評〕田植えの最中は何かごたごたしていたが、終わってみると田水をいっぱいに張って水面すれすれに緑の苗の先が出て、もう青田風が吹いているのだ。田んぼというよりは庭の風情をなしている。開発途上の田園地帯を俳句にした異色の一句。

五月雨の 合間忙しや 竿の数

中谷 明子

〔寸評〕梅雨の最中にふと晴天が除くことがある。この頃の晴天は主婦にとつてありがたいものです。大家族(?)の主婦らしい配慮も「竿の数」でよく表されています。「洗濯」の語がどこにも使われていない、省略のきいた句です。

田の神も 人も総出の 花田植

栗根 年雄

〔寸評〕田を守護する神、農業の神様も含めた「総出」の発想が奥ゆかしくすばらしい。太鼓笛・鉦などで賑やかにはやしながらの花田植に花を添えている。

旅心 あじさい電車 箱根山

栗根 年雄

〔寸評〕満開のあじさい見物の旅であろう。箱根八里の山中でしょうか。旅をして気分転換してみるのもいいですね。

今日よりの 日傘一人の 墓参り

伊木 幹枝

〔寸評〕この句 暑くなってきた、今年初めての日傘を(日傘が夏の季語)一人暮らし お墓参り これらを上手に仕立てた佳句です。

ままごとの やうな夕食 暮れおそし

伊木 幹枝

〔寸評〕「朝はパンに牛乳、昼はうどん、夜はおにぎり」でなくてよかった。ささやかながら何品か打ち揃えての夕食を髣髴させます。

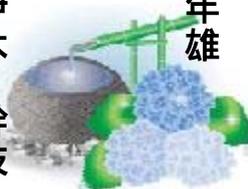
〔注〕「暮れおそし」は、三春の季語。

選者 吟

大の字の 手のひらゆるぶ

寝莫座かな

信廣 高陽



ホームページの紹介



あすかのホームページをご紹介します。
第15回目はよろず屋です！

インストラクターの紹介

今岡 由就 (しゅりあちょーくサブリーダー)

「よろず屋」とは、「あらゆるもの」という意味です。

よろず屋では、スタッフやご利用者様からの依頼を受けて、作業を進めています。いざ作業が始まると、「じゃあ、これをお願いしていい？」とリーダーシップを取られる方、与えられた仕事を黙々と行う方など、自然と役割分担され、私も一緒になって取り組みます。試行錯誤を重ねていき、よりよい作品が出来上がった時の達成感は格別です！他のご利用者様に作品を褒められた時には、こちらまで嬉しくなります。これからも個性を大事にしながら、いろいろな物を作っていきます。何か作って頂きたいものがあれば、是非よろず屋まで！



今岡 由就

あすかでのよろず屋の目的

「ものづくり」という作業を通して、一人ひとりが楽しみながら作業をして頂くことを目的としています。例えば、大工仕事が好きだったご利用者様は、昔の事を思い出しながら作業をされています。作業をしているうちに様々な意見が出され、より工夫の凝らされた作品が出来上がります。ものづくりをしながら、協力して行う連帯感、つくりあげた時の達成感などを感じてもらいたいと考えております。

今後の展開

依頼によるものづくり、毘沙門台小学校との交流会の際に、お土産として渡す竹とんぼ作り、ご利用者様の視点で見つける環境整備の為に営繕作業、花壇の柵づくりなど、作りあげる喜びを感じて頂きたいと思っております。



花壇の柵作りをしました！

3S

Specialist (専門家)

職員は、医療、看護、介護の専門家 (Specialist) としての誇りを持ち、実力を高めていくよう努力を続けます。

Sympathy (共感)

職員は、患者様と利用者様の人生全体を支えるためにその思いを共感し (Sympathy) 必要サービスを継続的に提供します。

Safety (安全)

職員は、患者様と利用者様の健康と安全 (Safety) に対して細心の注意を払います。

～医療法人あすかの理念～

当法人は

ISO9001 の認証施設です



高齢者の在宅療養を支援します

緑井3丁目20・1・103

あすか居宅介護支援事業所

082・830・5177

あすか福祉用具貸与事業所
あすか病児保育室

緑井2丁目12・25

高橋内科小児科医院

デイサービスセンター まやるちょーく

デイサービスセンター かるやんちょーく

通所リハビリテーション すてつぷ

ショートステイ みどりい

小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家

毘沙門台東1丁目24・16

デイサービスセンター しゅりあちょーく

デイサービスセンター 野ばら

あすか療養センター 緑井3丁目40・30

毘沙門クリニック

ショートステイ いわや

デイサービスセンター 野の花(準備中)

あすか療養センターのオープンハウスや交流会ではたくさんの方々に見学して頂く事が出来ました。その様子を掲載しておりますのでご覧下さい。

【編集後記】
各事業所で、いろいろなイベントがあるので編集する者としては、あれもこれも掲載したいと悩む程です。たくさんご紹介していきたいと思っております。